学校番号	2004

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代文	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「論理国語」　（数研出版）						
副教材等	「キーワードの卵」（尚文出版株式会社） 「語彙力をつける入試漢字 2600」（筑摩書房） 「最新国語便覧」（浜島書店編集部）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理的な文章に対する「読解力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「発言する・聴取する能力」や意思や理解した内容を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。

予習として必ず本文を読み、課題等に取り組んでおきましょう。授業の後にはノートの整理等、内容を振り返り、習った内容をしっかり記録して、定期試験対策を行い、試験前の学習で定着していくというサイクルを確立してください。

文章記述、意見発表など、アクティブな活動を取り入れた授業も行います。また、自分の考えを表現するために、語彙を増やし、文章を書く機会を大切に考えてください。

2　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができるようにする。
・言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

点観	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・漢字や語彙の知識を増やし、言語感覚を磨いている。 ・多様な表現の特色について理解し、適切でわかりやすい表現を使っている。 ・主張と論拠など、情報と情報の関係について理解している。	・目的やその場に応じて効果的に話し、的確に聞き取り、話し合い、自分の考えをまとめ、深めている。 ・相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 ・文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。

学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元の学習内容</th><th rowspan="2">単元の評価規準</th><th colspan="3">評価方法</th></tr>
<tr><th>知(a)</th><th>思(b)</th><th>主(c)</th></tr>
<tr><td rowspan="12">前期</td><td rowspan="3">１　文化の認識</td><td rowspan="3">ａ：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
ｂ[書]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を示そうとしている。
ｃ：着眼点の鋭さによって、よく知られた具体的な事例が抽象的に深められていくおもしろさを味わおうとしている。</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［教材］
「文化が違う」とは何を意味するのか？</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>振り返りシート</td></tr>
<tr><td rowspan="3">２　社会の枠組み</td><td rowspan="3">ａ：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きが在ることを理解している。
ｂ［読］：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。
ｃ：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［教材］
「である」ことと「する」こと</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>振り返りシート</td></tr>
<tr><td rowspan="3">３　情報と知性</td><td rowspan="3">ａ：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。
ｂ［読］：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。
ｃ：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［教材］
メディアのテロル</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>振り返りシート</td></tr>
<tr><td rowspan="12">後期</td><td rowspan="3">４　環境と人間</td><td rowspan="3">ａ：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めるている。
ｂ[書]：環境問題について、多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にしている。
ｃ：筆者の主張を踏まえた具体例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［教材］
環境と心の問題</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>振り返りシート</td></tr>
<tr><td rowspan="3">５　思索の深化</td><td rowspan="3">ａ：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めるている。
ｂ[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観に結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。
ｃ：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td><td>ワークシート</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［教材］
無常ということ</td><td>定期考査</td><td>定期考査</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td>振り返りシート</td></tr>
</table>

	6　物語と表現	ａ：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きが在ることを理解している。 ｂ[書]：他の資料をもとに、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を示している。 ｃ：本文の内容を理解したうえで、学習課題に沿って自分の考えを具体的に書こうとしている	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	［教材］ 本歌取り		定期考査	定期考査	
					振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（0）時間

・書くこと　…　（30）時間

・読むこと　…　（40）時間